施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	058	計画的な土地利用の推進				
総合計画	基本目標	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）			主担当部課名	都市整備部 計画課
	基本施策	01	計画的なまちづくりの推進			
めざす姿	自然環境などに配慮した快適なまちづくりが計画的に進められ、市民・事業者との協働による地域の特性をいかした調和の取れた適切な土地利用がなされています。また、市民の主体的なまちづくり活動を支援することにより、市民発意による良好なまちが形成されています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	45,100,000	49,131,000	27,141,000			
国庫支出金	10,222,000	9,229,000	0			
都支出金	5,183,000	12,119,000	5,049,000			
市債	0	0	0			
その他	0	0	13,000,000			
一般財源	29,695,000	27,783,000	9,092,000			
予算現額	44,112,000	49,161,000	0			
決算額	43,504,406	48,229,038	0			
国庫支出金	4,600,000	8,305,000	0			
都支出金	12,410,000	12,339,000	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	26,494,406	27,585,038	0			
執行率	98.6	98.1	0.0			
(人件費)						
職員数	5.54	5.26	0.00			
職員人件費	42,544,379	41,298,650	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	547,797	714,410	0			
総コスト	86,596,582	90,242,098	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
地区計画の決定地域の累積面積	61.5	実績	109.3	-	-	-	115
	ha	達成率	95.0	0.0	0.0	0.0	
活動助成団体数及び専門家の累計派遣団体数	1	実績	2	-	-	-	3
	団体	達成率	66.7	0.0	0.0	0.0	
市民と市が協働するまちづくりに満足している市民の割合	6	実績	20.6	-	-	-	25
	%	達成率	82.4	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

住みよいまちづくりの実現に向け、地区計画の策定を行っていくとともに、市民との協働でまちづくりを進めていくため、まちづくり活動への助成を行い、市民との協働による計画的なまちづくりの推進に対する満足度についても増加を目指しており、目標達成に向けて関連事業を順調に進めている。

4 施策の進捗状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進捗状況	目標達成に向け順調に進捗している			
達成できている点	・市民の満足度が引き続き維持されるよう、市民協働によるまちづくりを推進した。			
達成できていない点				

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

市民のまちづくり活動に対して技術的支援を行うため、平成21年度に府中市まちづくり活動支援要綱を策定し、まちづくり活動助成事業を進めており、地区計画の見直し等を行う団体やエリアマネジメントを進める団体に支援を行い、地域の特性を活かしたまちづくりが進展した。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

市民に対して、市民主体のまちづくり活動の必要性などを広く周知し、地域が抱えるまちの課題に対する市民ニーズを捉えたまちづくりに取り組む必要がある。

今後の展開

まちづくり活動支援事業を周知するため、地域の要請により地元の会合に参加するなど、まちづくり活動のきっかけづくりに取り組むとともに、市民の主体的なまちづくり活動を支援することにより市民発意による良好なまちを形成していく。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
市街地整備計画作成事業	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランの改定に向けたたたき台の作成 都市計画GISの整備推進 地域地区の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランの改定骨子及び素案の作成 都市計画GISの整備推進 地域地区の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランの改定案の作成及び変更手続 都市計画GISの整備推進 地域地区の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画GISの整備推進 地域地区の見直し
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 計画課	都市計画マスタープラン改定検討部会や地域団体の代表との意見交換会での意見などを踏まえ、都市計画マスタープランの全体構想及び地域別構想の見直し作業を進めた。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	56,200			
立地適正化計画作成事業	<ul style="list-style-type: none"> 立地適正化計画の素案及び計画案の作成 立地適正化計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 立地適正化計画の公表及び運用手続開始 		
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 計画課	計画どおり計画素案及び計画案を作成し、都市計画審議会やオープンハウスでの意見などを踏まえ、府中市立地適正化計画を策定した。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	19,000			
地域まちづくり事業	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり活動団体への専門家派遣事業の推進 まちづくり誘導地区の選定・検討 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり活動団体への専門家派遣事業の推進 まちづくり誘導地区の選定・検討 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり活動団体への専門家派遣事業の推進 まちづくり誘導地区の選定・検討 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり活動団体への専門家派遣事業の推進 まちづくり誘導地区の選定・検討
	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 計画課	まちづくり誘導地区の指定を目指してまちづくり活動を行う団体（まちづくり協議会）はあるが、本助成事業を利用する団体はなかった。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	2,880			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の前算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 都市計画施策推進事業	30		1,260,000	1,177,482	1,286,000	府中市都市計画審議会の運営	B	1
2 市街地整備計画作成事業	20		47,134,000	46,365,695	25,150,000	都市計画に関する各種計画を検討し立案する。	A	
3 地域まちづくり事業	30		718,000	685,861	687,000	計画的なまちづくりを誘導するとともに市民主体のまちづくり活動を支援する。	B	1
4 まちづくり活動助成事業	30		19,000	0	18,000	地区計画原案の作成などを行う「まちづくり活動団体」に対し、助成を行う。	B	1
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			49,131,000	48,229,038	27,141,000			

施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	059	良好な開発事業の誘導				
総合計画	基本目標	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）			主担当部課名	都市整備部 計画課
	基本施策	01	計画的なまちづくりの推進			
めざす姿	府中市地域まちづくり条例に基づき、まちの環境に大きな影響を与える大規模な土地取引の動向を把握し、まちづくりの方針に基づいた適正な土地利用の開発事業が行われ、景観と周辺の環境に配慮した良好なまちが形成されています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	4,549,000	4,263,000	3,794,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	55,000	65,000	65,000			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	4,494,000	4,198,000	3,729,000			
予算現額	4,549,000	4,233,000	0			
決算額	3,397,620	3,308,212	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	57,000	47,000	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	3,340,620	3,261,212	0			
執行率	74.7	78.2	0.0			
(人件費)						
職員数	4.06	4.28	0.00			
職員人件費	31,199,211	33,615,180	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	401,713	581,493	0			
総コスト	34,998,544	37,504,885	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
開発事業と併せて地区計画等を 決定した累計件数(件)	14	実績	29	-	-	-	30
	件	達成率	96.7	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

引き続き、開発事業者に対し、土地利用方針に基づいた計画的な開発事業への誘導を行い、目標達成に向けて事業を進めて行く。

4 施策の進捗状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進捗状況	目標達成に向け順調に進捗している			
達成できている点	良好な開発事業の誘導			
達成できていない点				

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
府中市地域まちづくり条例に基づき、まちの環境に大きな影響を与える可能性のある大規模な土地取引の動向を把握し、まちづくりの方針に基づき、適正な土地利用と周辺環境に配慮した良好な開発事業を誘導して成果が目標達成以上につながっている。引き続き、適正な誘導を行う。
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
府中市地域まちづくり条例の規定に基づき、市内における開発事業に対し、周辺環境に配慮しつつ、府中市都市計画に関する基本的な方針に可能な限り沿った開発事業となるよう誘導する必要がある、市民と事業者との協働による開発事業地周辺のまちづくりが求められている。
今後の展開
今後も府中市地域まちづくり条例の規定に基づき、府中市都市計画に関する基本的な方針に沿った適正な土地利用と景観や周辺環境に配慮した良好な開発事業となるよう誘導するとともに、市民と事業者との協働による開発事業地周辺のまちづくりを推進する。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
開発誘導事業	・まちづくり方針に基づき、適正な土地利用と周辺環境に配慮した良好な開発事業への誘導	・まちづくり方針に基づき、適正な土地利用と周辺環境に配慮した良好な開発事業への誘導	・まちづくり方針に基づき、適正な土地利用と周辺環境に配慮した良好な開発事業への誘導	・まちづくり方針に基づき、適正な土地利用と周辺環境に配慮した良好な開発事業への誘導
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 計画課				
事業種別	まちづくり方針に基づき、適正な土地利用と周辺環境に配慮した良好な開発事業を誘導してきた。引き続き、目標達成に向けて適正な誘導を行う。			
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
16,400				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の前算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 建築紛争調停委員会運営事業	30		128,000	12,292	128,000	府中市建築紛争調停委員会の運営	B	1
2 土地利用景観調整審査会運営事業	30		1,381,000	652,846	1,296,000	府中市土地利用調整審査会の運営	B	1
3 土地取引事務	10		98,000	97,095	98,000	国土利用計画法に基づく土地売買等の届出に伴う経由事務	B	1
4 開発誘導事業	30		2,656,000	2,545,979	2,272,000	土地利用方針に基づいた良好な開発事業へと誘導する。	B	1
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			4,263,000	3,308,212	3,794,000			

施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	060	震災に対応した建築物の誘導			
総合計画	基本目標	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）		主担当部課名	都市整備部 建築指導課
	基本施策	01	計画的なまちづくりの推進		
めざす姿	市民が震災に備える意識を高く持ち建築物の耐震化・防火化を進めることにより、震災に対応した建築物が増え、災害に強いまちづくりが進んでいます。				

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	123,938,000	143,019,000	72,662,000			
国庫支出金	54,019,000	61,102,000	31,883,000			
都支出金	29,545,000	46,836,000	20,211,000			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	40,374,000	35,081,000	20,568,000			
予算現額	106,410,000	105,667,000	0			
決算額	93,438,803	103,938,288	0			
国庫支出金	40,334,000	47,657,000	0			
都支出金	18,872,000	32,719,000	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	34,232,803	23,562,288	0			
執行率	87.8	98.4	0.0			
(人件費)						
職員数	3.15	3.15	0.00			
職員人件費	24,197,116	24,752,996	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	237,661	204,959	0			
総コスト	117,873,580	128,896,243	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
住宅耐震化率	84.9	実績	92.6	-	-	-	96
	%	達成率	96.5	0.0	0.0	0.0	
緊急輸送道路沿道建築物耐震化率	93.2	実績	94.9	-	-	-	97.4
	%	達成率	97.4	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

住宅の耐震化率は、助成制度の活用などにより目標値の達成に向けて、概ね順調に推移している。緊急輸送道路沿道建築物の耐震化率は、改修費の工面やマンション所有者の合意形成及び商業ビルのテナント調整などに時間を要する。個別訪問を繰り返すことにより懸案事項を把握し、建築物ごとの課題について、抽出・整理し、所有者等に対し改善に向けた提案をしていくことにより、耐震化を根気強く促していく。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	住宅の耐震化については耐震化率の達成に向けて概ね順調に推移している。			
達成できていない点	特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化について、耐震診断は全て完了しているものの補強設計、耐震改修等への移行が、改修費用の工面やマンション所有者間の合意形成、商業ビルのテナント調整などに時間を要し、やや遅れている。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>住宅の耐震化については、耐震診断、改修、耐震建替等の費用の助成を継続して実施してきたことにより、令和2年度末の耐震化率95%の達成にむけ概ね順調に進捗している。</p> <p>特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化については、個別訪問により耐震化の必要性、助成制度などについて説明をおこない耐震化を強く促している。現在のところ、対象建築物45棟のうち、27棟について、耐震改修、除却等が実施され、耐震性が確保されている。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>旧耐震基準の木造戸建て住宅の耐震化については、木造住宅耐震アドバイザーの派遣、耐震診断、耐震改修等の費用の助成を引き続き継続するとともに、更に住宅の耐震化を強く促進するため、平成29年度から令和2年度の4ヵ年で、市内の旧耐震基準の木造戸建て住宅を対象に建築士による各戸訪問を実施する。</p> <p>特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化については、耐震診断から補強設計、耐震改修へ移行できない課題について、建築物ごとに抽出・整理し、所有者等に対し改善に向けた提案が必要である。</p>
今後の展開
<p>住宅については、市内の旧耐震基準の木造戸建て住宅全てを対象に建築士による各戸訪問を実施し、耐震化の重要性や支援制度等を説明し、耐震化に向けた取組の実施を強く促す。</p> <p>特定緊急輸送道路沿道建築物については、全ての建築物所有者への個別訪問をくり返し、耐震化を根気強く促すとともに、特に倒壊の危険性が高い建築物の耐震化を重点的に促していく。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
建築物耐震化促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化普及啓発イベント ・無料耐震相談会の実施 ・木造住宅耐震アドバイザーの派遣 ・旧耐震木造戸建て住宅への各戸訪問 ・木造住宅の耐震診断、改修費用の助成 ・特定緊急輸送道路沿道建築物の補強設計、耐震改修等の費用助成 			
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 建築指導課	木造住宅の耐震化については、耐震診断、耐震改修等に対する助成を行い建築物の耐震化を促した。特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化については、所有者への個別訪問を実施し、耐震化を強く促す目標達成に向け順調に耐震化が進んでいる。			
事業種別	-----			
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
1,105,992				
【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別	-----			
4か年事業費計(単位:千円)				
【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別	-----			
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の前算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 建築物耐震化促進事業	30		143,019,000	103,938,288	72,662,000	耐震化に向けた普及啓発活動や耐震化に係る費用助成により、建築物の耐震化を促進する。	B	1
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			143,019,000	103,938,288	72,662,000			

施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	061	質の高い建築物の確保				
総合計画	基本目標	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）			担当部署名	都市整備部 建築指導課
	基本施策	01	計画的なまちづくりの推進			
めざす姿	市民や事業者と協働して、良好な建築行為の確保に努めることにより、災害に強い安全で安心な建築物が確保されています。また、市民や事業者と協働して、建築物の長寿命化や省エネルギー化、低炭素化を促進することにより、環境に配慮したまちが形成されています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	7,185,000	7,915,000	7,841,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	103,000	92,000	98,000			
市債	0	0	0			
その他	4,439,000	5,908,000	5,987,000			
一般財源	2,643,000	1,915,000	1,756,000			
予算現額	7,185,000	8,173,000	0			
決算額	6,673,668	7,865,255	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	105,615	106,255	0			
市債	0	0	0			
その他	6,568,053	5,979,608	0			
一般財源	0	1,779,392	0			
執行率	92.9	96.2	0.0			
(人件費)						
職員数	9.50	10.50	0.00			
職員人件費	72,975,428	82,509,987	0			
嘱託員数	1.00	3.00	0.00			
嘱託員人件費	3,120,400	9,377,658	0			
(間接経費)						
間接経費	792,207	878,399	0			
総コスト	83,561,703	100,631,299	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
検査済証交付率	98.1	実績	78.8	-	-	-	100
	%	達成率	78.8	0.0	0.0	0.0	
長期優良住宅認定率	21.6	実績	13.1	-	-	-	40
	%	達成率	32.8	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

検査済証交付率：建築確認済の建築物で検査済証の交付を受けた件数は、現在工事中の建築物もあるため、今後増加することが見込まれる。
 長期優良住宅認定率：市民への周知に努めているが、長期優良住宅の認定率は伸び悩んでいる傾向にある。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調			
達成できている点	質の高い建築物の確保に努めるため、本年度も継続し都及び近隣の特定行政庁と定期的に意見交換会を行い情報収集に努めた。			
達成できていない点	完了検査率が低い傾向にある。また、特定建築物等の定期報告に係る是正については、改善報告の提出がなされていない建築物等がある。長期優良住宅等の認定申請件数が少ない。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

- ・特定建築物等の定期報告においては、是正の必要な建築物の所有者等に対して通知書を送付し、改善指導を行った。
- ・適正な建築行為の推進を図るために、民間指定確認検査機関と協議会を開催するとともに、都及び近隣の特定行政庁と会合を開いて意見交換を行った。
- ・国の協力をを得て指定確認検査機関に立入検査を行った。
- ・認定に係る適正な審査及び事務の効率化を図るため、多摩地域の特定行政庁との連絡会を開催し、意見調整及び交換会を実施した。
- ・建築物の長寿命化や省エネルギー、低炭素化を促進するため周知に努めた。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

- ・完了検査率を向上させるため、建築主や工事施工業者に対して、啓発活動が必要である。
- ・特定建築物等の定期報告に係る未報告者及び要是正事項が改善されない建築物の所有者等に対して指導が必要である。
- ・建築物の長寿命化、省エネルギー化及び低炭素化を促進する長期優良住宅及び低炭素住宅の認定制度が市民、事業者等に十分に認知されていない。

今後の展開

- ・指定確認検査機関との連携を強化し、適正な確認検査業務を実施する。
- ・完了検査率向上のため完了検査予定日が過ぎている建物については、現場に出向き状況を確認し検査の受検を促す。
- ・建築物の長寿命化、省エネルギー化及び低炭素化に係る建築物の認定制度については、ホームページなどを活用し普及啓発を図る。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
特定行政庁所管事業	<ul style="list-style-type: none"> ・違反建築を防止するため現場パトロールを定期的実施する。 ・特殊建築物等の定期調査検査報告に係る未報告の督促及び改善指導を強化する。 ・建築主や工事施工者に対してはがきやチラシにより完了検査受講の周知徹底を図る。 			
【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	目標達成に向け順調に進ちよくしている			
都市整備部 建築指導課				
事業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・違反建築物防止週間において都、警察、消防などと連携してパトロールを行った。 ・特定建築物等の定期調査検査報告に係る未報告については、督促状を送付し報告率の向上を目指した。 			
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	29,236			
建築指導事務	<ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法の適正な運用を図るための相談指導及び審査を行う。 ・建築基準法の適正な運用に係る最新の情報収集に努める。 			
【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	目標達成に向け順調に進ちよくしている			
都市整備部 建築指導課				
事業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法の適正な運用を図るため、毎月研修会等を実施し、職員の能力向上及び資質向上に努めた。 ・建築基準法の適正な運用に係る最新の情報を収集するため積極的に研修会などに参加した。 			
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	4,744			
【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署				
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の前算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 特定行政庁所管事業	10		1,112,000	1,136,835	1,077,000	災害に強いまちづくりを推進するため建築物の安全性・安心性を確保し、適正な建築行為の推進に努	B	1
2 建築指導事務	10		6,803,000	6,728,420	6,764,000	建築物の長寿命化や省エネルギー化、低炭素化を促進し環境に配慮したまちづくりを推進する。	B	1
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			7,915,000	7,865,255	7,841,000			

施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	062	魅力ある景観の形成			
総合計画	基本目標	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）		主担当部課名	都市整備部 計画課
	基本施策	01	計画的なまちづくりの推進		
めざす姿	市民の景観に対する理解が深まり、市民や事業者と連携し、守り育てた地域の特徴を活かした優れた景観があります。また、市民の生活にやすらぎと潤いを与え、市民が愛着を持つ魅力ある緑豊かな景観が形成されています。				

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	1,917,000	87,793,000	5,190,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	40,741,000	2,700,000			
一般財源	1,917,000	47,052,000	2,490,000			
予算現額	11,563,000	87,793,000	0			
決算額	11,559,723	77,359,367	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	2,630,000	0	0			
市債	0	0	0			
その他	4,535,000	21,551,000	0			
一般財源	4,394,723	55,808,367	0			
執行率	100.0	88.1	0.0			
(人件費)						
職員数	1.11	0.86	0.00			
職員人件費	8,508,876	6,723,036	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	109,558	116,298	0			
総コスト	20,178,157	84,198,701	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
まちなみや景観がよく保全されていると感じている市民の割合 (%)	58.8	実績	48.4	-	-	-	65
	%	達成率	74.5	0.0	0.0	0.0	
開発事業等における景観協定累計面積 (ha)	23.2	実績	25.8	-	-	-	30
	ha	達成率	86.0	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

引き続き、事業者と協議、指導を行い、良好な景観形成を誘導し、市民が愛着を持つような景観を目指し、目標達成に向けて事業を進めていく。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調			
達成できている点	開発事業者等に景観協定について協力を求め、事前相談の段階で、開発事業に対し、景観協定を行うよう誘導している。			
達成できていない点	開発事業者等に協力を求め、まちなみに調和した景観が形成されるように誘導しているが、ここ4年は実績がない状況である。目標達成に向けて、引き続き適正な誘導を行う。市民に対しては、イベント等で良好な景観のPRを行っているが、なかなか浸透していない。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>府中市景観条例の改正により、平成20年度から府中市景観計画に沿った良好な景観の誘導が可能となり、景観ガイドライン（色彩編）（屋外広告物編）（緑化編）（中高層建築物等編）（住宅地開発編）の策定を行い運用してきた。平成24年度は景観ガイドライン（歴史的建造物等編）の策定に向け検討を行った。また、地域の方々が魅力的な景観形成を行うことを目的とし、景観協定1地区の認可を行っている。平成24年度は景観協定1地区の認可を行ったことで、合計9地区となった。景観協定普及及び啓発のためのパンフレットを作成し、運用している。平成21年度には第2回景観賞及びシンポジウムを開催し、市民や事業者に対し、良好な景観形成の意識啓発に努めた。平成24年度は市民の景観に対する意識啓発の継続のため、景観まちづくり学習を行った。平成25年度は府中まちなみ探偵団を実施し、景観に対する関心と子供の視点を今後の活動に生かすため作品を募集し、けやきフェスタの際にフォーリス1階で写真や絵画の展示を行った。また、景観協定を新たに2地区認可を行い、合計11地区となった。平成26年度は小学生を対象にまちなみ絵画を募集し、府中市美術館に展示を行った。平成27年度は、景観協定を1地区の認可を行ったことで、合計12地区となった。また、一般地域（商業系）において、建築計画があった際には、商業活動の場として、低層部のにぎわいを連続させるような景観づくりを開発事業者等に協力を求め、周辺のまちの特性を生かし、まち並みに調和した景観が形成されるよう誘導しました。平成28年度は、けやきフェスタのイベントの中で、景観計画や景観ガイドラインのPRを行い、引き続き、誘導していく。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>景観の取組を常に市民・事業者などに発信し、市民の景観に対する意識啓発を行い、良好な景観の形成を誘導する必要がある。景観計画に示す景観形成推進地区ごとの景観まちづくりのルールを地域住民の合意形成を図りながら示す必要がある。このことから、府中市のシンボルであるケヤキ並木沿道の景観形成について、関係各課と連携しながら進める必要がある。</p> <p>また、景観行政団体となってから約10年が経過し、市民の景観に対する意識が希薄になりつつある中で、けやき並木を中心とした府中市の景観を国内外にPRするとともに、府中市景観計画の改定を行う必要がある。</p>
今後の展開
<p>今後も、府中市景観計画及び府中市景観条例に基づき、良好な景観形成を推進するための施策を展開し、良好な土地利用となるよう景観ガイドラインにより、開発事業を誘導する。また、市民の更なる意識啓発のきっかけづくりとしての景観賞及びシンポジウムなどのあり方について検討するとともに、まちづくり学習を実施し、市民、事業者の意識啓発を行う。</p> <p>さらに、国内外にけやき並木を中心とした景観をPRするとともに、府中市景観計画の改定作業を進める。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
景観施策推進事業	・府中市景観計画に沿った良好なまちづくりへの誘導	・府中市景観計画に沿った良好なまちづくりへの誘導 ・府中市景観計画の改定に向けた情報収集及び課題整理（評価・検証）	・府中市景観計画に沿った良好なまちづくりへの誘導 ・府中市景観計画の改定素案の作成 ・市内全域を対象とした公共サインの現状把握	・府中市景観計画に沿った良好なまちづくりへの誘導 ・府中市景観計画の改定 ・公共サイン計画の策定検討
	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 計画課				
事業種別				
主要な事務事業	開発事業者等に協力を求め、周辺のまちの特性を生かしまち並みに調和した景観が形成されるよう誘導している。しかしながら、市民へイベント等で良好な景観のPRを行っているが、なかなか浸透していない。			
4か年事業費計(単位:千円)				
20,000				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の前算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 景観施策推進事業	20		87,793,000	77,359,367	5,190,000	府中市景観計画に基づき良好な景観形成を推進する	A	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			87,793,000	77,359,367	5,190,000			